

令和元年9月4日

# 1日防災学校を支援します！

## ～今金小学校で水害に関する防災教育を実施～

このたび、北海道が取組む「1日防災学校」のモデル実践校に今金小学校が選ばれたことから、函館開発建設部では下記のとおり防災に関する授業の支援を実施します。

授業では、洪水が起こる仕組みや川の氾濫を防ぐ施設、気象・防災情報の意味を学ぶとともに、皆でタイムラインを作成することで、水害への事前の備えや避難の仕方などを学びます。

函館開発建設部では、水害から自分の命を守る行動（避難）や日頃からの備えなどを学んでもらうために、教材となる資料の提供や授業のサポートなど、防災教育の支援を行っています。【別紙参照】

### 記

日時 令和元年9月12日（木） 10:35～12:10

場所 今金町立今金小学校（瀬棚郡今金町字今金108）

参加者 4年生 35人

その他 洪水や地震時などの災害対応中は、中止となる場合があります。

取材を希望される際は、9月11日（水）までに以下の問合せ先までお知らせください。

※「1日防災学校」とは、児童生徒に対する防災教育の取組。

（学校の授業の中に防災の要素を取り入れ、児童生徒等が防災について考える1日）

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

工務課 流域計画官 みさかわ三佐川 剛昌（電話番号 0138-42-7604）

工務課 事業専門官 とやべ鳥谷部 寿人（電話番号 0138-42-7604）

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



# 別紙 洪水が起きたとき・・・どうする？ ～小学生を対象とした防災教育の実施～

函館開発建設部では、後志利別川流域の小学校において「防災教育の支援(教材となる資料の提供、授業のサポート)」を行い、総合的な学習の時間で4年生28名が「川を氾濫から防ぐ施設」や「川があふれそうになった時の避難の仕方」などを学びました。

- 開催日時 平成30年9月13日(木) 5～6時限目(90分)
- 実施場所 今金小学校
- 参加者数 4年生: 28名
- 参加機関 主催: 今金小学校 支援: 函館開発建設部 協力: 今金河川事務所他 約8名

※ 教材は、函館開発建設部、教育委員会と小学校の先生などが事前に打ち合わせて作成しました。

## 授業の様子



映像による水害時の様子の紹介



川を氾濫から防ぐ施設の説明  
(今金河川事務所職員がサポート)

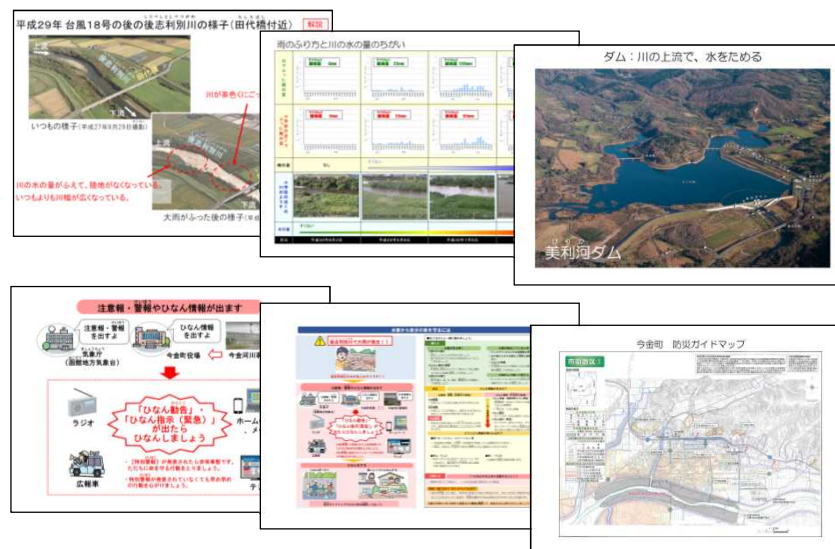


防災ガイドマップを使った  
避難場所の学習



防災グッズの紹介

## 作成した教材(一例)



## 子供たちの感想

- ・川が氾濫したときに、町にどのような被害が出るか良く分かった
  - ・川が氾濫しそうな時、避難所や高い所に行けば良いことが分かった。
  - ・避難する時の防災グッズにはいろいろな種類があり、その役割が良く分かった。
  - ・洪水が起きた時の命の守り方が良く分かった。
- など